

JST 国家戦略分野の若手研究者及び博士後期課程学生の育成事業 (BOOST)  
次世代 AI 人材育成プログラム (博士後期課程学生支援)

千葉大学 AI 特化型・挑戦的融合イノベーター  
博士人材養成プロジェクトーAIコア

令和7年(2025年)10月採択

**募集要項**

令和7年5月30日

国立研究開発法人科学技術振興機構  
国家戦略分野の若手研究者及び博士後期課程学生の育成事業（BOOST）  
次世代 AI 人材育成プログラム（博士後期課程学生支援）

「千葉大学 AI 特化型・挑戦的融合イノベーター  
博士人材養成プロジェクトーAI コア」

## 募集要項

### ＜プロジェクトの概要＞

千葉大学は、国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）が公募した「次世代研究者挑戦的研究プログラム」における「国家戦略分野の若手研究者及び博士後期課程学生の育成事業（BOOST）次世代 AI 人材育成プログラム（博士後期課程学生）」に採択され、令和6年度から「AI 特化型・挑戦的融合イノベーター博士人材養成プロジェクトーAI コア」として事業を実施することになりました。

本プロジェクトは、AI 分野の先端研究や AI と他分野との先端融合研究に取り組む有望な博士後期課程学生に対し、十分な研究奨励費および研究費を支援して、研究に専念できる環境を整備するとともに、AI 分野の多彩な専門家集団からの指導・助言を受け、次世代 AI 分野（AI 分野および AI 分野における新興・融合領域）の開拓・牽引につながりうる革新的・挑戦的 AI 研究を学生が実施することを支援するものです。このプロジェクトを通して、大学内に次世代 AI 分野の革新的・挑戦的研究を目指す博士後期課程学生の研究集団（AI コア）が形成され、この集団から次世代 AI 分野を開拓・牽引する質の高い博士人材が継続的に輩出されることを狙っています。また、これら博士人材が我が国の次世代 AI 分野のリーディングサイエンティストに成長することで、我が国のイノベーション創出や産業競争力強化が促されることを期待しています。

なお、本プロジェクトに採択された学生は、令和6年度から新たに開始された「千葉大学 全方位・挑戦的融合イノベーター博士人材養成プロジェクト」（以下、「全方位」という。）が提供する様々なキャリア開発・育成コンテンツを利用することが可能です。

「AI 特化型・挑戦的融合イノベーター博士人材養成プロジェクトーAI コア」ウェブサイト



<https://imo.chiba-u.jp/BOOST-AI/>

（注意：募集要項の内容は、政府予算の状況により変更になる場合があります。）

## 1. 募集人員

3名程度

## 2. 申請資格

申請できる者は、次の(1)から(5)の全てに該当する者としてします。

(1) 令和7年10月1日時点で、千葉大学大学院博士後期課程の次に記す専攻に在学する者（申請時点で千葉大学 大学院 博士後期課程 入学者選抜試験の可否確定前であっても可）。ただし、申請時に休学中の者、および令和7年10月に4年制2専攻（先端医学薬学、先進予防医学共同）に入学する者は除く。

人文公共学，数学情報科学，地球環境科学，先進理化学，創成工学，基幹工学，情報・データサイエンス，環境園芸学，先端医学薬学，先進予防医学共同，先端創薬科学，看護学

(2) AI（機械学習，行動科学，ソフトコンピューティング，マルチエージェント技術など）に関する先端的分野，もしくはAIと他分野との先端融合分野に関する研究に携わった経験があること。加えて，支援期間中に次世代AI分野に関わる研究成果について学会発表や論文発表ができること。

(3) 日本における次世代AI分野のイノベーション創造や産業競争力強化を担う意欲を有し，日本国内の大学もしくは企業等において，次世代AI分野の研究開発を行う意思のあること。

(4) 本プロジェクトにおいて実施する選抜試験を受験できる者。

(5) 次の(ア)から(ク)のいずれにも該当しない者

(ア) 標準修業年限を超過する学生。標準修業年限の満了月が，申請時点で令和11年3月を超える見込みの者。

(イ) JST「次世代研究者挑戦的研究プログラム」千葉大学「全方位・挑戦的融合イノベーター博士人材養成プロジェクト」に在籍するプロジェクト生。

(ウ) 独立行政法人日本学術振興会に特別研究員として所属する学生。

(エ) 本学や企業等から，生活費相当額として十分な水準\*)で，給与・役員報酬等の安定的な収入を得ていると認められる学生。

\*)生活費相当額として十分な水準は，他の事業等を踏まえ，240万円/年を基準とします。

(オ) 国費外国人留学生制度による支援を受ける留学生，本国からの奨学金等の支援を受ける留学生。

(カ) 大学推薦の奨学金・併願不可の奨学金に申請，または受給が決定している学生。

(キ) 併給不可の財団奨学金に申請，または受給が決定している学生。

(ク) 併給不可の日本学生支援機構奨学金に申請，または受給が決定している学生。

※本プロジェクト申請後または合格後の在籍中に，上記(ア)から(ク)のいずれかに該当するようになった場合は，本プロジェクトを辞退していただきます。

## 3. 申請手続

(1) 申請書受付期間

令和7年6月3日（火）から令和7年6月20日（金） 14時まで【厳守】

※ 令和7年7月25日（金）までに申請者に受験票をメールにて送付します。

※ 8月1日（金）までに，受け取った受験票に写真を貼り付けたデータを，メール添付にて返送してください。

(2) 申請書提出先

千葉大学 AI特化型プロジェクト担当

E-mail : boost-ai@chiba-u.jp

(3) 提出書類および提出方法

下記の書類を揃えて提出してください。

<注意事項>

- ※ 申請書類は、電子メールでの提出とします。郵送での受付は行いません。
- ※ メールの件名を「A I 特化型選抜試験申請 専攻・学年・氏名」とすること。  
なお専攻・学年は令和7年10月時点のものとしします。
- ※ 添付ファイル容量は合計20MB以内としてください。  
容量を超える場合は複数回に分けて送付ください。  
千葉大学の「ファイル受渡システム」を利用することは可としますが、その他のクラウドストレージを指定するダウンロード方式での提出は認めません。
- ※ 申請書に設定するパスワードは1つに統一し、PDFの権限設定にパスワードを設定しないこと。  
パスワードの通知は同じ件名を使用し、申請書類提出のメールと分けて送信してください。
- ※ **受付期間内に受信できなかった申請は、受理しません。**
- ※ 申請後、再提出を求められることがあります。連絡が取れるようにしてください。再提出の期日も申請書受付期間内のため、**期日に余裕を持って申請してください。**

様式は、**必ず最新の様式をダウンロードすること。**  
(過去の選抜試験で配布した様式は受付不可)

<https://imo.chiba-u.jp/BOOST-AI/>

<申請者本人から提出するもの【代理不可】>

提出書類	摘要
1. 選抜試験 申請書 (様式) (PDFデータ)	<ul style="list-style-type: none"><li>• ファイル名を「01. 申請書 (専攻 学年 氏名)」に変更して、必要事項を漏れなく記入のうえ、データをPDF形式に変換し提出してください。</li><li>• パスワードを設定すること。</li></ul>
※ 論文等研究業績 (PDFデータ)	<ul style="list-style-type: none"><li>• 自身が中心となって執筆した、特に重要と考えられる以下の(a)～(f)いずれか3篇以内を、PDF形式により提出すること。</li><li>• AI分野に関連する論文が1篇以上含まれていることが望ましい。</li><li>• ファイル名を「02. 論文 (専攻・学年・氏名)」に変更し、複数ある場合は氏名の後に番号を付すこと。</li></ul> <p><b>【提出を認めるもの】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>(a) 原著論文</li><li>(b) 学会発表論文</li><li>(c) 紀要論文</li><li>(d) 著書</li><li>(e) 学会発表ポスター・スライド</li><li>(f) 学会発表抄録</li></ul> <p>※ 査読有無を問わない。 ※ 採録決定前や発表前も可。</p> <p><b>【提出を認めないもの (例)】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>• 学位論文 (修士論文, 卒業論文)</li><li>• 申請書に記載する研究業績「③受賞」 「④その他の特記すべき活動」を示す書類</li></ul> <p>※ 提出がなくても申請することができます。ただし審査に関わりません。</p>

<指導教員から提出するもの【代理不可】>

提出書類	摘要
<p>3. AI特化型・挑戦的融合イノベーション博士人材養成プロジェクト — AIコア 指導教員推薦書 (Microsoft Forms)</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>指導教員が直接提出する申請書類です。</li> <li><b>申請者から指導教員へ、期日に余裕をもって依頼すること。</b></li> <li><b>指導教員本人（令和7年10月時点）</b>が下記URLのフォームから回答してください。</li> </ul> <p>回答期日：<b>6月20日（金）14時【厳守】</b></p> <p><a href="https://forms.office.com/r/s79EqE1eEh">https://forms.office.com/r/s79EqE1eEh</a></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本学のユーザーのみアクセスが可能です。 （「利用者番号@cloud.chiba-u.jp」 パスワードは統合メールと同じ）</li> <li>上記URLにアクセスできない場合は、(2)申請書提出先までお知らせください。</li> </ul>

4. 選抜方法等

選抜は、書面審査（提出書類等）および面接（日本語または英語）により行います。  
なお、オンライン試験は実施しません。

(1) 面接日時

令和7年8月19日（火）または8月20日（水）

9：00～17：00の間で、本プロジェクトが指定した時間に実施します。

※ 申請者数によって、8月19日（火）の1日で実施する場合があります。

※ 日時の指定はできません。

※ 令和7年7月25日（金）までに、面接日時および受験案内をメールにてお知らせします。  
7月28日（月）を過ぎても届かない場合は、文末の「問合せ先」までお知らせください。

(2) 面接場所

千葉大学西千葉キャンパス内

※ 申請者に個別に通知します。

(3) 面接内容

一人30分程度（プロジェクトによる発表15分程度、質疑応答15分程度）

発表内容は以下のとおりとします。

- ① これまでの研究成果
- ② 今後の研究計画
- ③ 博士後期課程修了後のビジョン

【留意事項】

面接当日は、用意したデータファイルを印刷（コピー）したものを5部持参してください。

（スライド4枚／1頁（横方向）／A4両面カラー）

プロジェクトは用意しますので、HDMI接続できるパソコンを持参してください。

## 5. 注意事項

- (1) 申請書類に不備がある場合には、受理しないことがあります。
- (2) メール・電話等による可否の問い合わせには一切応じません。
- (3) 選抜試験の過程で収集した個人情報、選抜試験の実施のほか、管理運営業務、就学指導業務、プロジェクト選抜方法等における調査・研究に関する業務を行うために利用します。
- (4) 選抜試験の日程を変更する場合があります。その際は、本プロジェクトのウェブサイトもしくは、申請者にメールにてお知らせします。
- (5) 次世代研究者挑戦的研究プログラム「全方位・挑戦的融合イノベーター博士人材養成プロジェクト」との併願は可能です。ただし、本プロジェクトに採択された場合は、本プロジェクトを選択していただきます。

## 6. 合格発表

令和7年8月27日（水） 14:00

- ※ 合格者はプロジェクト担当から本人のメールアドレスに通知するとともに、本プロジェクトのウェブサイト上で公表します。
- ※ 合格者は8月29日（金）までにメールが届かない場合、文末の「問合せ先」へご連絡ください。合格は指導教員にも通知します。
- ※ 合格通知書とともに、採択後の手続について案内を送付します。指定の期日までに事前の相談なく採択後の手続を行わない場合は、プロジェクト生の身分を失います。
- ※ 合格の辞退を希望する場合は、9月30日（火）までに文末の「問合せ先」まで連絡してください。
- ※ 合格者の辞退等により、追加合格を行うことがあります。追加合格者には、10月1日（水）以降に個別に連絡をします。

## 7. 支援期間

- ※ 研究奨励費（生活費相当額）は、令和7年10月から最大3年間です。
- ※ 退学あるいは支給資格を満たさない状況になった時点で支援を終了します。
- ※ 本プロジェクト申請後または合格後の在籍中に、「2. 申請資格 (5) (ア) から(ク)」のいずれかに該当するようになった場合は、支援を終了します。
- ※ 休学期間中は支給を停止します。  
休学期間が2年以内に終わった場合は、復学の手続きをすることにより、支給が再開されることがあります。ただし休学期間が2年を超える場合、プロジェクト生としての資格を失います。

## 8. 支給額

プロジェクト採択後、必要な手続きを完了した後に、研究費と研究奨励費（生活費相当）を合わせて年間390万円を支給します。

### (1) 研究費 年額150万円（初年度 年額75万円）

研究費は大学の管理の下で会計規程等に基づき執行していただきます。年度繰り越しはできません。

### (2) 研究奨励費 年額240万円／月額20万円（初年度 年額120万円／月額20万円）

※ 希望者は研究奨励費月額15～20万円の範囲内で調整することで、研究費の年額を150～210万円（初年度は75～105万円）にすることができます（当該範囲を超える調整はできません）。

※ 金額調整についての申請は、採択後の手続時と毎年度始めに受付けます。

※ プロジェクト採択後、毎月提出いただく所属確認報告書の確認をもって、個人の銀行口座に毎月振込みします。（初回は2ヶ月分を11月25日に支給します。）指導教員の承認が毎月必要です。

※ 研究奨励費は雑所得として課税対象となり各自で確定申告・納税が必要です。家族の被扶養者になっている場合は、必ず扶養義務者に伝えてください。

※ 健康保険や扶養手当等における扶養の扱いについては、扶養義務者の職場等の担当に申し出てください。

## 9. プロジェクト生の義務

本プロジェクトの学生は、支援期間中、自身の研究の遂行に加え、本プロジェクトが用意するAIセミナーへの参加とAI育成チームとの定期的な面談が義務づけられます。また、支援期間中に自身の次世代AI分野の研究成果に関する学会発表や論文発表が求められます。

参加状況および年間の研究遂行状況を確認し義務履行が著しく不十分な場合は、年度の途中であっても支援を打ち切る場合があります。

## 10. 全方位の提供するキャリア開発・育成コンテンツについて

本プロジェクトの学生は、希望により全方位の提供するキャリア開発・育成コンテンツ（留学支援、キャリアパスセミナーの受講等）の支援を受けることが可能です。採択後に適宜、案内します。

### 【問合せ先】

千葉大学 AI 特化型プロジェクト担当

E-mail : boost-ai@chiba-u.jp